

平成 30 年度事業報告

地域の中では、様々な分野の課題が絡み合い様々な問題を抱えた人々が支援を必要とする状況がみられます。更に、社会的孤立の問題や公的支援制度の狭間の問題も指摘されています。このような課題に対応するために、包括的な相談支援体制の強化や人々の生活の基盤である地域づくりの強化に努めました。

また、国が示す「地域共生社会」の実現に向けた施策が打ち出されており、地域における住民主体の課題解決力を強化し、包括的な相談支援体制をつくるため、他人事を「我が事」に変えていく働きかけをする機能と、相談を「丸ごと」受け止める場の設置が求められています。

そのような中で本会は、「第4期福生市地域福祉活動計画」（ささえあいプランふっさ）を推進する1年目にあたり、本会が実施している多様な相談支援活動や幅広いネットワークを活かし、地域の力を高めることに繋がるよう、行政をはじめ地域の住民や各種機関・団体等と連携・協働を深めながら、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指しました。

1 福生市地域福祉活動計画（ささえあいプランふっさ）の推進

本年度は、「第4期福生市地域福祉活動計画」（ささえあいプランふっさ）の初年度にあたります。「気づき・築きあい 認めあい ささえあい とともに生きる まち ふっさ」を基本理念に、地域住民、行政や各関係機関・団体等と連携・協働を深め、それぞれの役割を明確に、福生市が策定した「地域福祉計画」と一体的に地域福祉を推進しました。

2 社協らしい事業の展開

新たに、「ファミリー・サポート・センター事業」を福生市から受託し、これまで実施してきた各種事業についても、市民・行政・各種団体等の負託に応え、地域福祉を推進する中核的団体として、より一層充実した事業運営に努めました。

また、本年度から来年度にかけて福生市が福祉センターの改良工事を実施しています。様々な事業運営への影響を最低限におさえ、地域住民、各種機関・団体等への効率的な事業運営等に努めました。

3 災害に備えた社協の体制強化

災害に備え、地域の住民や各種機関・団体と連携して、小地域福祉活動など日常的な地域の支え合いの仕組みづくりを構築し、更に、福生市との「災害時におけるボランティア活動等に関する協定書」に基づき、行政と協働して災害に備えた取り組みの強化に努めました。

4 時代に対応した社協の体制づくり

財源確保が非常に厳しい状況下において、引き続き経営体制づくりの強化に努め、より効果的に事業を推進するための組織改正を実施するとともに、業務改善、組織の見直しを継続して検討・実施しました。更に、社協職員としての資質の向上を図り、職員が専門性を発揮し、新たな事業の開発・実施に努めました。